

立 ズ システム RPAを活用し 経理業務効率化

「自動運用シナリオ」発売

日立システムズは5日、グローウィン・パートナーズ（東京都千代田区）と連携し、スーパーストリームの会計システム向けに、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を活用し企業の経理業務を効率化する製品を発売した。自動化により効率化

計」を導入している企業向けの製品で、これまで手作業で行っていた定型的な経理業務をRPAツールを使って自動化する。

会計システムに販売管理システムから売上げデータを取り込む業務や取引先ごとに管理している前渡金の残高明細作成業務など、自動化により効率化できる6業務を対象にしている。

想定した業務内容をRPAツールを使ってあらかじめ作り込んでおくため、簡単な調整をするだけですぐに利用が始められる。

財務経理部門向けコンサルティングサービスを350社以上に提供した実績を持つグローウィン・パートナーズの内部統制の観点を含め作成しているため、単なる自動化ではなく、不正やミスを防ぐ仕組みが盛り込まれている。

このシナリオを使うことで、会計システム

への売上げデータ登録は最大80%の工数削減ができ、データから経営会議の作成や、分析資料を作成するケースで最大80%を削減。

価格は3シナリオの場合で年60万円から。